

令和6年度第4回小田原市生活交通ネットワーク協議会 次第

日時：令和7年(2025年)3月27日(木)

午前10時から

場所：小田原市役所3階 議会全員協議会室

1 報告事項

- (1) 県生活交通確保対策地域協議会県西地域分科会における協議結果について
- (2) バス4社合同 運転体験会 就職相談・会社説明会の開催について
- (3) バスの乗り方教室・バス de おでかけプロジェクト・バスマップについて
- (4) おだタク・おだチケ実証事業(第4弾)の実施について
- (5) 日本版ライドシェアの検討状況について

2 その他

卓上配付資料

- ・出席者名簿
- ・座席表
- ・【資料1】 県生活交通確保対策地域協議会県西地域分科会における協議結果について
- ・【資料2】 バス4社合同 運転体験会 就職相談・会社説明会の開催について
- ・【資料3-1】 令和6年度バスの乗り方教室 実施結果
- ・【資料3-2】 第10回バス de おでかけプロジェクト 実施結果
- ・【資料3-3】 県西部都市圏バスマップ
- ・【資料4】 おだタク・おだチケ実証事業(第4弾)の実施について
- ・小田原市地域公共交通計画

令和6年度第4回小田原市生活交通ネットワーク協議会 出席者名簿

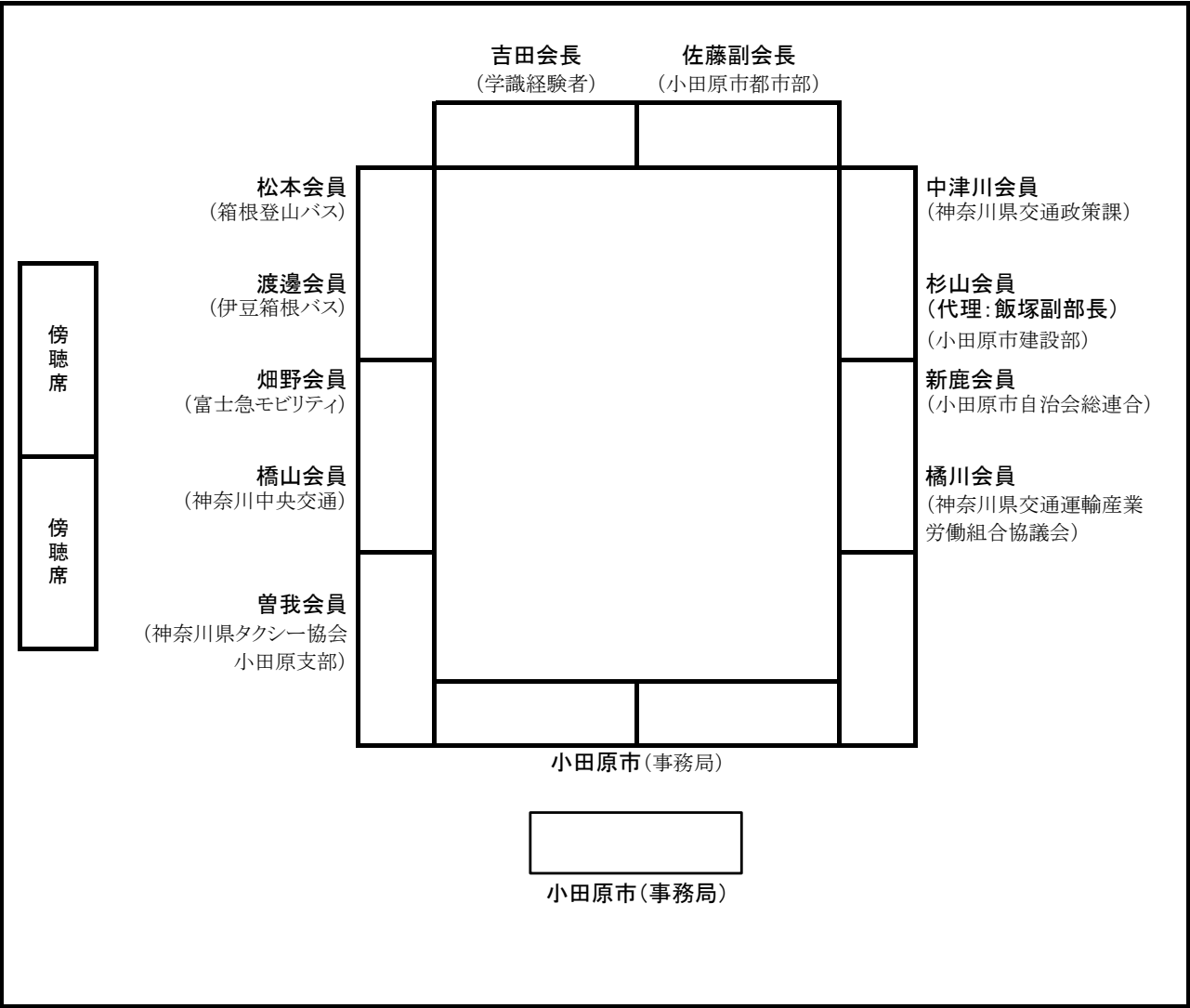
区 分		会 員		出 欠	備 考
		職 名	氏 名		
バス事業者	箱根登山バス株式会社	運輸部付課長	松本 峰雄	出 席	
	伊豆箱根バス株式会社	小田原営業所長	渡邊 淳也	出 席	
	富士急モビリティ株式会社	業務部 部長	畑野 政信	出 席	
	神奈川中央交通株式会社	運輸計画部 課長	橋山 英人	出 席	
タクシー事業者	神奈川県タクシー協会 小田原支部	監事	曾我 良成	出 席	
運転者が組織する団体	神奈川県交通運輸産業 労働組合協議会	委員	橘川 直広	出 席	
利用者・ 市民代表等	小田原市自治会総連合	曾我地区自治会連合会長	新鹿 勲	出 席	
	小田原市自治会総連合	片浦地区自治会連合会長	青木 功	欠 席	
	小田原箱根商工会議所	経営支援部 経営支援三課 課長	内田 信也	欠 席	幹 事
学識経験者	福島大学	教授	吉田 樹	出 席	会 長
交通管理者	神奈川県小田原警察署	交通第一課長	山本 真之	欠 席	
道路管理者	国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所	交通対策課長	嶋原 謙二	欠 席	
	神奈川県県西土木事務所 小田原土木センター	工務担当部長	坂口 勝利	欠 席	
	小田原市	建設部長	杉山 忠嘉	代 理 (飯塚 敬司)	
交通政策所管	国土交通省関東運輸局 神奈川運輸支局	首席運輸企画専門官	宿谷 幸利	欠 席	
	神奈川県	県土整備局都市部 交通政策課 副課長	中津川 宗尉	出 席	幹 事
	小田原市	都市部長	佐藤 正和	出 席	副会長

区 分		職 名	氏 名	備 考
事務局	小田原市	副部長（地域交通課長事務取扱）	金子 明弘	事務局長
		地域交通課係長	倉本 敦行	
		地域交通課主査	泉 遼佑	
		地域交通課主査	曾我 政王	
		地域交通課主任	土谷 海斗	
		地域交通課主事	葛西 隼太郎	

※地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく法定協議会

※任期：2年（令和5年(2023年)4月1日～令和7年(2025年)3月31日）

令和6年度第4回 小田原市生活交通ネットワーク協議会 座席表



交 政 第 1248 号
令和 7 年 2 月 26 日

神奈川県生活交通確保対策地域協議会
県西地域分科会構成員 各位

神奈川県生活交通確保対策地域協議会
会長（神奈川県副知事）橋本 和也

神奈川県生活交通確保対策地域協議会県西地域分科会における
協議結果について（送付）

このことについて、一般乗合旅客自動車運送事業者である箱根登山バス株式会社から2024年3月29日付23箱登第70号による申出のあった路線退出等意向については、当協議会県西地域分科会において、次のとおり確保方策が調いましたので協議結果を送付します。

なお、当該事業者に対しては、別添のとおり通知したことを申し添えます。

○ 退出等意向申出路線（詳細は別紙のとおり）

申出 路線 番号	系統 番号	退出等意向申出路線 （区間）	申出内容	退出時期（予定） （退出等意向申出書による）	関係 市町村
3	湯06 湯07	湯河原駅～長窪・福浦～真鶴駅 （湯河原駅～長窪・福浦～真鶴駅）	路線 廃止	2025年 3 月31日	真鶴町 湯河原町
確保方策の 内容		湯07系統のみ廃止とし、湯河原町が運行収支の赤字額を全額補填することにより路線バスの運行を維持する。廃止予定時期は、2025年3月末とする。			
4	湯11 湯12	湯河原駅～鍛冶屋・幕山公園 （湯河原駅～鍛冶屋・幕山公園）	路線 廃止	2025年 3 月31日	湯河原町
確保方策の 内容		湯河原町が運行収支の赤字額を全額補填することにより路線バスの運行を維持する。			
5	小30	鴨宮駅～西成田～鴨宮駅 （鴨宮駅～西成田～鴨宮駅）	路線 廃止	2025年 3 月31日	小田原市
確保方策の 内容		減回の上、当該路線を維持する。			

問合せ先

神奈川県生活交通確保対策地域協議会事務局

県土整備局都市部交通政策課

交通企画グループ 臼井、中川

電 話 (045) 210-6182

メー ル kotsu-kikaku@pref.kanagawa.lg.jp

23箱登第70号
2024年3月29日

神奈川県生活交通確保対策地域協議会
会長 神奈川県副知事 殿

名称及び代表者氏名 箱根登山バス株式会社
取締役社長 野村尚廣

住 所 神奈川県小田原市東町
5丁目33番1号

神奈川県生活交通確保対策地域協議会に係る路線退出等意向申出書

次の路線について退出等の意向を申し出ます。

申出 路線 番号	退出等意向申出路線（区間）		意向申出内容	事 由	退出等 予定年月	関係系 統数
	起点～終点 （通過市町村名）	キロ程 （km）				
1	新松田駅～関本～地蔵堂 （関本～地蔵堂） （松田町、開成町、南足柄市）	14.3 （8.6）	路線廃止	運転士不足により 仕業の削減を図る ため。	2025年 3月31日	3
2	関本～摺手・矢倉沢～内山 （関本～摺手・矢倉沢～内山） （南足柄市）	8.2 （8.2）	路線廃止	運転士不足により 仕業の削減を図る ため。	2025年 3月31日	2
3	湯河原駅～長窪・福浦～真鶴駅 （湯河原駅～長窪・福浦～真鶴駅） （湯河原町、真鶴町）	3.6 （3.6）	路線廃止	運転士不足により 仕業の削減を図る ため。	2025年 3月31日	2
4	湯河原駅～鍛冶屋・幕山公園 （湯河原駅～鍛冶屋・幕山公園） （湯河原町）	4.4 （4.4）	路線廃止	運転士不足により 仕業の削減を図る ため。	2025年 3月31日	2
5	鴨宮駅～西成田～鴨宮駅 （鴨宮駅～西成田～鴨宮駅） （小田原市）	9.2 （9.2）	路線廃止	運転士不足により 仕業の削減を図る ため。	2025年 3月31日	1

記入要領

- 1 申出路線番号は、退出等意向申出路線ごとに番号をかえて記入する。
- 2 退出等意向申出路線（区間）は、路線の起終点を停留所名をもって記入するとともに、当該区間のキロ程を小数点第1位（第2位以下切り捨て）まで記入する。
- 3 意向申出内容は、「路線廃止」等具体的な内容を記入する。
- 4 事由は、退出等を必要とする理由を簡潔に記入する。
- 5 退出等予定年月は、意向申出内容を実施しようとする予定年月を記入する。なお、路線休止に係る場合は予定する休止の期間もあわせて記入する。
- 6 関係系統数は、退出等意向申出路線に関係する系統数を記入する。

添付資料

別表（退出等意向申出路線に係る運行系統別調書）

(別 表)

退出等意向申出路線に係る運行系統別調書

事業者名： 箱根登山バス株式会社

ページ : 1 / 1

担当部署・担当者名・電話番号： 運輸部課長 佐野 剛 0465-35-1201

申出 路線 番号	系統 番号	起点～主な経由地～終点 (通過市町村名)	種別	キロ程 (k m)	運行回数 平日・土休日 (回)	平均乗 車密度 (人)	実車走行 キロ (k m)	輸送人員 (人)	經常費用 (千円)	經常収益 (千円)	差額 (千円)	競合区間 キロ程 (k m)	国 補助	備 考
1	関 14	新松田駅～関本～地藏堂 (松田町、開成町、南足柄市)	①	14.3	平日： 0.5 回 土曜： 1.0 回 休日： 1.0 回	4.5	28,877	46,340	19,623	9,683	△9,940	－		平均乗車密度～ 差額の実績数値 は減便前の値
	関 16	関本～矢倉沢～地藏堂 (南足柄市)	①	8.6	平日： 0.0 回 土曜： 1.0 回 休日： 1.0 回									
	関 17	関本～内山～矢倉沢～地藏堂 (南足柄市)	①	11.9	平日： 3.0 回 土曜： 2.0 回 休日： 2.0 回									
2	関 18	関本～摺手～内山 (南足柄市)	①	5.4	平日： 5.5 回 土曜： 3.5 回 休日： 3.5 回	1.4	44,101	43,539	29,968	5,765	△24,203	－		平均乗車密度～ 差額の実績数値 は減便前の値
	関 19	関本～矢倉沢～内山 (南足柄市)	①	8.2	平日： 4.5 回 土曜： 2.5 回 休日： 2.5 回									
3	湯 06	湯河原駅～長窪～真鶴駅 (湯河原町、真鶴町)	①	3.6	平日： 11.0 回 土曜： 11.0 回 休日： 11.0 回	4.3	33,114	72,869	22,502	13,456	△9,046	3.6		平均乗車密度～ 差額の実績数値 は減便前の値
	湯 07	湯河原駅～福浦～真鶴駅 (湯河原町、真鶴町)	①	3.5	平日： 0.5 回 土曜： 0.5 回 休日： 0.5 回									
4	湯 11	湯河原駅～鍛冶屋 (湯河原町)	①	2.4	平日： 17.0 回 土曜： 13.0 回 休日： 13.0 回	6.6	65,367	211,140	44,419	38,559	△5,860	－		平均乗車密度～ 差額の実績数値 は減便前の値
	湯 12	湯河原駅～鍛冶屋～幕山公園 (湯河原町)	①	4.4	平日： 5.0 回 土曜： 5.0 回 休日： 5.0 回									

申出 路線 番号	系統 番号	起点～主な経由地～終点 (通過市町村名)	種別	キロ程 (k m)	運行回数 平日・土休日 (回)	平均乗 車密度 (人)	実車走行 キロ (k m)	輸送人員 (人)	経常費用 (千円)	経常収益 (千円)	差額 (千円)	競合区間 キロ程 (k m)	国 補 助	備 考
5	小 30	鴨宮駅～西成田～鴨宮駅 (小田原市)	①	9.2	平日： 1.5 回 土曜： — 休日： —	1.1	10,651	6,193	7,238	1,151	△6,087	2.2		平均乗車密度～ 差額の実績数値 は減便前の値

記入要領

- 1 本調書は、退出等意向申出路線に関係する全ての系統について、申出路線ごとに区切って記入する。
- 2 運行系統は現時点のものを、輸送実績については最新の年度のものを記入する。但し、現在の系統と各実績数値の内容が著しく相違する場合は、実績数値欄は空白とし、余白にその旨を明記する。
- 3 申出路線番号は、申出書の番号と合致させるものとする。
- 4 系統番号は、系統毎に「かながわのバスマップ」（県バス協会編）に記載されている系統番号を記入する。
- 5 種別欄は、現時点での系統整理の考え方について、①系統廃止、②系統変更（系統の短縮や他系統に振り替えるもの等）、③その他 の数字を記入する。
- 6 キロ程、運行回数、平均乗車密度、実車走行キロ、競合区間キロ程は、小数点第1位（第2位以下切り捨て）まで記入する。
- 7 運行回数は、平日・土休日（祝祭日を含む）毎に、年間を通した平均回数を記入する。なお、1往復を1回とし、循環系統の場合は1循環1回とする。
- 8 競合区間キロ程は、自社他社を問わず、競合している区間の全キロ程を記入する。（当該系統で競合区間が複数ある場合には合算する。）
- 9 備考欄は、種別欄が②、③の場合にその内容を簡潔に記入する。また、同一の系統を複数の申出路線について記載する必要がある場合には、「再掲」と記入する。

申出路線番号 5 鴨宮駅～西成田～鴨宮駅 9.2km



	実車走行キロ km	輸送人員 人	経常費用 千円	経常収益 千円	うち運行補助金 千円	差額 千円
2022年度	10,651	6,193	7,238	1,151	0	△ 6,087

本路線は、鴨宮駅～西成田～鴨宮駅を1日2回運行する循環路線で、一部、富士急モビリティ(株)の路線バスと競合している。
平日のみ1日2回（7時台、17時台）運行しているが、17時台の乗降人員は7時台の半分以下である。
沿線には、企業や医療施設があるものの、利用者は少ない。

バス 4 社合同 運転体験会 就職相談・会社説明会の開催について (小田原市地域公共交通計画 実施事業 No. 6)

1 目 的

路線バスの慢性的な運転士不足に対し、バス 4 社と市の合同で大型バスの運転体験会と就職相談・会社説明会を開催することで、運転士としての就労イメージを高め、各社の採用に繋ぐため実施するもの。

2 開催概要

開催日：令和 7 年 5 月 19 日（月）

日 程：（午前の部）10 時～12 時 （午後の部）13 時 30 分～15 時 30 分

会 場：小田原ドライビングスクール（小田原市蓮正寺 540-2）

対 象：バスの運転業務に関心のある普通自動車運転免許証等の保有者

内 容：大型バス（教習車）の運転体験（※AT 限定免許の方は乗車・見学のみ）、
各社の就職相談・会社説明ブースの設置、路線バス車両の展示・見学

定 員：①運転体験会：20 名／各部（事前予約制）

②就職相談・会社説明会：定員なし（予約不要）

その他：参加無料、服装自由、駐車場（無料）あり

3 実施主体

小田原市（小田原市生活交通ネットワーク協議会）

箱根登山バス、伊豆箱根バス、富士急モビリティ、神奈川中央交通

小田原ドライビングスクール（協力）、ハローワーク小田原（共催）

4 周知方法

定例記者会見（4/8）、市広報誌（5月号）・HP・SNS、デジタルサイネージ、
ポスター掲示・チラシ配架、ハローワークでの情報発信、バス車内広告 など



**バス 4 社合同
運転体験会
就職相談・会社説明会**

2025年
5月19日 月

会場 小田原ドライビングスクール
小田原線 登田駅から徒歩10分
駐車場あり（無料）

対 象 バスの運転業務に興味のある方
普通自動車免許をお持ちの方
※AT限定免許の方は乗車・見学のみ

参加企業 箱根登山バス
伊豆箱根バス
富士急モビリティ
神奈川中央交通

申込 事前予約制（運転体験のみ・定員20名）
ご予約はQRコードから
就職相談・会社説明会は当日参加可

※主催：小田原市生活交通ネットワーク協議会（小田原市、箱根登山バス、伊豆箱根バス、富士急モビリティ、神奈川中央交通）
協賛：小田原ドライビングスクール、伊豆箱根バス、伊豆箱根バス、伊豆箱根バス、伊豆箱根バス、伊豆箱根バス



**バス 4 社合同
運転体験会
就職相談・会社説明会**

2025年
5月19日 月

対 象 バスの運転業務に興味のある方
普通自動車免許をお持ちの方

参加無料 **服装自由**

日 時 2025年 5月19日 月
午前の部 10時00分～12時00分
午後の部 13時30分～15時30分
(13時10分受付開始)

会 場 小田原ドライビングスクール
(小田原線 登田駅から徒歩10分)
駐車場あり（無料）

内 容 大型バス（教習車）の運転体験
※AT限定免許の方は乗車・見学のみ
※AT限定免許の方は乗車・見学のみ
※AT限定免許の方は乗車・見学のみ
※AT限定免許の方は乗車・見学のみ

申込 事前予約制（運転体験のみ・定員20名）
ご予約はQRコードから
就職相談・会社説明会は当日参加可

※主催：小田原市生活交通ネットワーク協議会（小田原市、箱根登山バス、伊豆箱根バス、富士急モビリティ、神奈川中央交通）
協賛：小田原ドライビングスクール、伊豆箱根バス、伊豆箱根バス、伊豆箱根バス、伊豆箱根バス、伊豆箱根バス



**バス 4 社合同
運転体験会
就職相談・会社説明会**

2025年
5月19日 月

**バス運転士の仕事にご興味のある方
ご参加をお待ちしています！**

午前部 10時00分～12時00分
午後部 13時30分～15時30分
(13時10分受付開始)

会場 小田原ドライビングスクール
小田原線 登田駅から徒歩10分
駐車場あり（無料）

※主催：小田原市生活交通ネットワーク協議会（小田原市、箱根登山バス、伊豆箱根バス、富士急モビリティ、神奈川中央交通）
協賛：小田原ドライビングスクール、伊豆箱根バス、伊豆箱根バス、伊豆箱根バス、伊豆箱根バス、伊豆箱根バス

令和6年度（2024年度）バスの乗り方教室 実施結果 （小田原市地域公共交通計画 実施事業 No. 7）

1 概 要

市内を運行するバス事業者により小学校児童（特別支援学級児童含む）を対象に「バスの乗り方教室」を実施。（平成26年度から実施）

2 実施結果

（1）山王小学校

【日 時】令和6年12月3日（火）午前9時40分～午前11時45分

【対 象】2年生（25名）

【実 施】箱根登山バス株式会社

【場 所】箱根登山バス小田原営業所

（2）久野小学校

【日 時】令和6年12月4日（水）午前9時30分～午前11時15分

【対 象】2年生（44名）

【実 施】伊豆箱根バス株式会社

【場 所】伊豆箱根バス株式会社小田原営業所（車庫）

（3）曽我小学校

【日 時】令和6年12月16日（月）午前10時40分～午前12時15分

【対 象】1～3年生（計：28名 1年生10名、2年生7名、3年生11名）

【実 施】富士急モビリティ株式会社

【場 所】曽我小学校校庭

※下中小学校【学校からの申出により R6 実施なし】

【実施の様子】



第 10 回バス de おでかけプロジェクト実施結果

(小田原市地域公共交通計画 実施事業 No. 9)

1 概 要

「自家用車から公共交通への利用転換」を促進し、道路混雑の緩和と二酸化炭素排出量の削減を図るため、ダイナシティ、イトーヨーカドー小田原店、箱根登山バス、富士急モビリティ、市が連携して実施。期間中、ダイナシティ及びイトーヨーカドー小田原店で一定額以上の買い物をした方を対象に、バス無料乗車券を配布するもの。

2 実施結果（前回比較）

	今回（第 10 回）	前回（第 9 回）
配布期間	令和 6 年（2024 年）11 月 1 日～11 月 30 日 30 日間	令和 5 年（2023 年）11 月 1 日～11 月 30 日 30 日間
利用期間	令和 6 年（2024 年）11 月 1 日～12 月 31 日 61 日間	令和 5 年（2023 年）11 月 1 日～12 月 31 日 61 日間
配布条件	購入金額 3,000 円ごとに 1 枚	購入金額 3,000 円ごとに 1 枚
利用条件	「ダイナシティ」又は「小田原東郵便局前」バス停で乗車又は下車した場合に有効	「ダイナシティ」又は「小田原東郵便局前」バス停で乗車又は下車した場合に有効
実施結果	配布予定 3,000 枚 配布枚数 2,917 枚(配布予定比 97.2%) 利用枚数 2,159 枚(配布枚数比 74.0%)	配布予定 3,000 枚 配布枚数 2,877 枚(配布予定比 95.9%) 利用枚数 2,096 枚(配布枚数比 72.9%)
アンケート 【ダイナシティへの普段の交通手段】	回答数 751 件(利用枚数比 34.8%) バス・電車:488 枚(43.8%) 自家用車:306 枚(27.5%)	回答数 1,292 件(利用枚数比 61.6%) バス・電車:530 枚(41.0%) 自家用車:299 枚(23.1%)

3 実施効果

プロジェクト実施期間における自家用車からバスへの移行台数及びそれに伴う CO2 削減量について、アンケート結果を基に概算値を算出した。

(1) 自家用車からバスへの移行台数

2,159 枚(バス無料乗車券利用枚数) × 14.1% (ダイナシティへの普段の交通手段が「自家用車」の回答率)
 $\div 304$ 台 (前回比△180 台)

(2) CO2 削減量

304 台 × 6.30 (車 1 台あたりの CO2 排出量) = 1,915kg-CO2

※車 1 台あたりの CO2 排出量 年間 2300kg-CO2 (大日本山林会出版「日本の森林と林業」より)

$\div 365$ 日 $\div 6.30$

⇒ 杉約 218 本が 1 年に吸収する Co2 量 又は 2L ペットボトル約 49 万本分

※杉の CO2 吸収量: 8.8kg-CO2/本/年 (林野庁 HP より)

※CO2 (0 度, 1 気圧) 1kg=509L

4 実施期間中の写真



箱根登山バス（R 4 写真）



富士急湘南バス（R 4 写真）



バス無料乗車券の配布期間中、ダイナシティの敷地内及び館内にプロジェクトののぼり旗を設置（一部設置箇所のR 4 写真。R 4以降設置場所同じ）



ダイナシティ内のデジタルサイネージにて告知（R 4 写真）



第10回でも第8・9回に続き、プロジェクトの周知・利用啓発を目的として、バス de おでかけフェアを、令和6年（2024年）11月3日（日・祝）に開催。

※ バス de おでかけフェアの実施結果

バス乗車体験参加人数	130名程度
バスグッズ等販売ブース	100名程度
キッチンカー利用者	49組

バス おでかけ プロジェクト

エコな交通手段「路線バス」に乗ってお買い物

実施期間：令和6年11月1日（金）～12月31日（火）



税込 3,000 円以上
のお買物*で

ダイナシティ、イトーヨーカ
ドー小田原店で、お買上げ。
（当日レシートのみ合算可）

※一部対象外店舗あり
※バス無料乗車券は、税込
3,000 円以上ごとに1枚配布



バス無料乗車券*
をプレゼント

ウエスト1F・インフォメーシ
ョンまたは、イースト1F・イ
トーヨーカドー・サービスカウ
ンターにて、レシートをご提示
ください。

※当日のレシートに限り有効
※1日につき最大2枚まで
※配布は令和6年11月30日（土）
まで（1日先着100枚）



今度のお買物は
バスを活用

バス無料乗車券は、以下に示す
【利用可能バス路線図】の「ダ
イナシティ」または、「小田原東
郵便局前」バス停で、乗車か、
下車する場合のみ有効です。

※乗り換え時の継続利用不可。
※無料乗車券1枚につき1回
乗車可能

【利用可能バス路線図】



（株）ダイドーフォワード（ダイナシティ）、イトーヨーカドー小田原店、箱根登山バス（株）、富士急モビリティ（株）、小田原市の連携・協働により、路線バスの利用促進と脱炭素化の推進を目的に実施しています。エコなバスに乗ってSDGsに貢献しよう!!

Think
MIRAI
小田原から未来を考える

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

小田原市は持続可能な開発目標（SDGs）を推進しています。



※この取組は、おたわらSDGsパートナー会による連携事業です。

プロジェクトの
詳細はこちら→

市HPへアクセ
スします。



11月3日(日)

バスdeおでかけフェア

バスに乗って
ダイナシティまで
おでかけしよう!!



詳細はこちら

時間: 10時00分~15時00分
会場: ダイナシティウエスト正面店頭
※雨天決行
(荒天中止)



イベント内容

バス運転士なりきり体験



グッズ販売



関連ブース出展

キッチンカー来場

レストスペースを設置!!
ゆったりとイベントを楽しめます!



おだゼロフェア
についてはこちら!

おだわらゼロカーボンフェアと同時開催!!

- ・ソーラーカーやエコバッグづくりなどのワークショップ
- ・電気自動車などの展示
- ・おだゼロ絵画・ポスターコンクールの表彰式 などを実施します!



主催: バスdeおでかけプロジェクト (ダイナシティ、イトーヨーカドー小田原店、箱根登山バス(株)、富士急モビリティ(株))
問合せ: 小田原市 バスdeおでかけフェアについて → 地域交通課 0465-33-1405
(おだわらゼロカーボンフェア ゼロカーボン推進課 0465-33-1426)

※写真は一部イメージを含みます。

おだタク・おだチケ実証事業（第4弾）の実施について

（小田原市地域公共交通計画 実施事業 No. 12）

1 概 要

日中に路線バスの運行していない空白時間帯が生じている地域や、駅・バス停から離れている地域において、地域のニーズと実情に応じた移動支援策を選定するため、令和5年11月から「おだタク・おだチケ実証事業」を実施している。

令和7年4月から令和7年10月まで「第4弾」の実証事業に取り組む。

【実証事業の実施期間】

第1弾	令和5年11月～令和6年3月（5か月間）
第2弾	令和6年4月～令和6年10月（7か月間）
第3弾	令和6年11月～令和7年3月（5か月間） ※現在実施中
第4弾	令和7年4月～令和7年10月（7か月間）

2 第4弾の実施内容

（1）相乗りタクシー「おだタク」

地域との意見交換を行い、降車スポットを1カ所追加し、新ダイヤで運行する。

	第3弾 (R6. 11～R7. 3)	第4弾 (R7. 4～R7. 10)
運行地区	片浦（小田原駅～石名坂）	
運行日数、運賃	週2日、1便600円(乗車人数に応じて案分)	
利用方法	予約不要(先着順)	

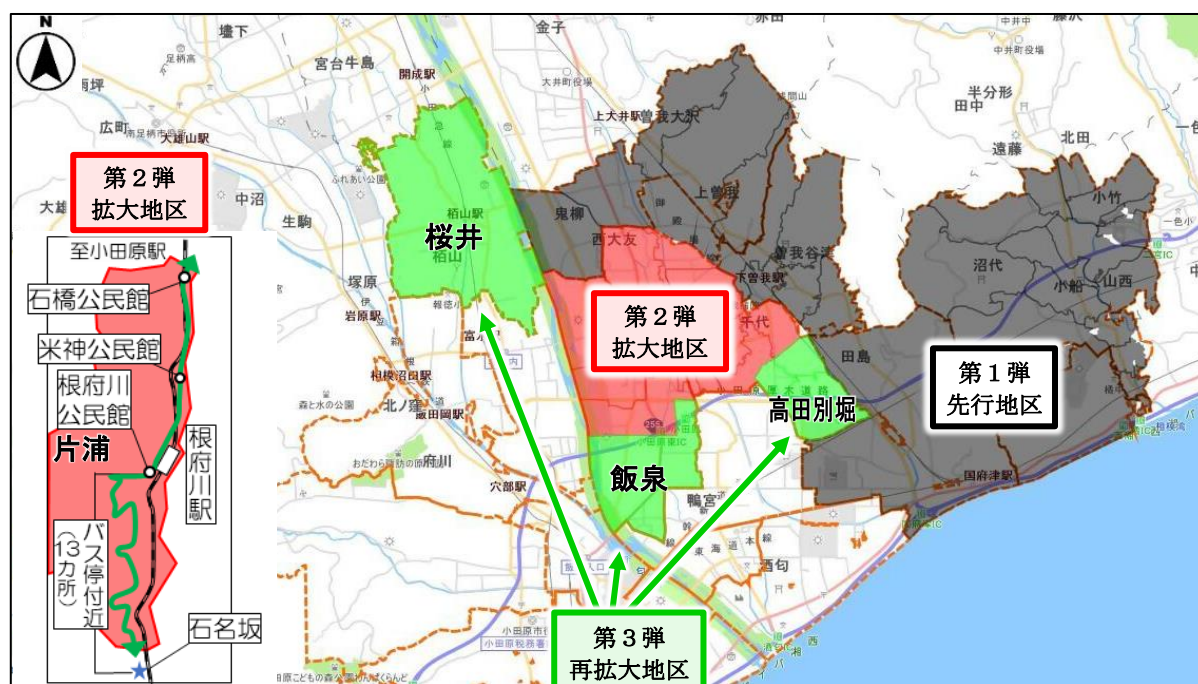
（2）タクシー・路線バス共通助成券「おだチケ」

第3弾の事業内容を継続して実施。

（対象地区、対象者、利用できるバス事業者・路線に変更なし）

	第3弾 (R6. 11～R7. 3)	第4弾 (R7. 4～R7. 10)
対象地区	曽我、下曽我、国府津、前羽、橘北、片浦、豊川、上府中、桜井	
対 象 者	①70歳以上・運転免許証非保有者 ②妊婦	
利用できるバス事業者・路線	富士急モビリティ 神奈川中央交通 箱根登山バス	乗り継ぎ等、対象地区以外の路線でも利用可能 ※一部路線は利用不可
	富士急モビリティや神奈川中央交通は高齢者定期券等の購入で全路線利用可能	
助成金額	12,000円（5カ月分）	16,800円（7カ月分）

(3) 事業地区(地区自治会連合会の区域)



相乗りタクシー「おだタク」				共通助成券「おだチケ」			
第1弾	前羽	第1弾	先行地区	第1弾	先行地区	第2弾	先行地区+拡大地区
第2弾	前羽+下曾我・国府津+片浦	第2弾	先行地区+拡大地区	第2弾	先行地区+拡大地区+再拡大地区	第3弾	先行地区+拡大地区+再拡大地区
第3弾	片浦	第3弾	先行地区+拡大地区+再拡大地区	第4弾	先行地区+拡大地区+再拡大地区	第4弾	先行地区+拡大地区+再拡大地区
第4弾	片浦						

3 第3弾の実施状況

(1) 相乗りタクシー「おだタク」

ア 目的

日中の路線バスの空白時間帯を補完する移動支援策として、誰でも利用できる相乗りタクシーを運行。

イ 実績

①平均乗車便数(=利用があった便数/運行週数)

②平均利用者数(=利用者数/運行週数) [1週当たり]

地区	第2弾(R6. 4~9)				第3弾(R6. 10~R7. 2)			
	運行 日数	運行 便数	平均 乗車便数	平均 利用者数	運行 日数	運行 便数	平均 乗車便数	平均 利用者数
前羽	2日	26便	4.3便	5.3人	—	—	—	—
下曾我・ 国府津		20便	3.1便	3.6人	—	—	—	—
片浦		22便	11.3便	17.9人	2日	20便	10.4便	19.9人

③第2弾運賃収入

[令和6年4月～10月実績]

	運行委託料 (A)	運賃収入 (B)	収支率 (B/A)
前羽	1,958,399 円	74,500 円	3.8%
下曽我・国府津	2,243,945 円	48,600 円	2.2%
片浦	1,696,464 円	356,400 円	21.0%

(2) タクシー・路線バス共通助成券「おだチケ」

ア 目的

駅やバス停から離れている地域で買い物や通院等、日常の移動に困っている70歳以上の運転免許証をお持ちでない方の移動支援策として、タクシーと路線バスで利用できる共通助成券を配付。

イ 実績

①第3弾申請者数

(令和7年2月28日現在)

	対象者数(A)	申請者数(B)	申請率(B/A)	配付金額 (B×12,000 円)
70歳以上	6,971 人	3,171 人	45.5%	38,052,000 円
妊婦	199 人	199 人	100%	2,388,000 円

※対象者数(A・運転免許証非保有者数)=70歳以上人口－運転免許証保有者数

妊婦は運転免許証非保有条件なし(申請不要)

②利用者数・利用金額(利用期間：令和6年11月1日～令和7年1月31日)

		タクシー	路線バス	合計
利用者数	11月～1月	3,258 人	2,143 人	4,674 人
	利用割合	60.3%	39.7%	
利用金額	11月～1月	10,619,300 円	3,092,100 円	13,711,400 円
	利用割合	77.4%	22.6%	

※延べ利用者数は月毎にチケットを利用した人数を足し合わせた数

タクシーと路線バスをそれぞれ利用される方がいるため、合計は一致しない

※利用率：56.5% (利用金額 13,711,400 円÷配付金額(3か月分) 24,264,000 円)